

## 仙台で同友会セミナー

### 来年の本県開催 出席者にアピール

全国各地の経済界のリーダーらが集まる「第30回全国経済同友会セミナー」が20、21の両日、仙台市内で開催され、栃木県経済同友会会員76人を含む延べ約1200人が出席した。

2018年の第31回セミナーは宇都宮市内で開催されるため、県経済同友会の小林辰興筆頭代表理事などが登壇し、本県をPRした。

来年は県経済同友会の設立30周年で、同セミナーが東京以外の関東地区で開催するのは初めてとなる。21日の閉会式では次期開催地

を代表し、小林筆頭代表理事が「会員の英知を結集し、万全の準備を進めている。ぜひたくさんの方々に栃木へお越しいただき、歴史と文化そして若者の発する熱気を感じていただきたい」とあいさつした。

続いて、本県を紹介するプロモーションビデオの上映やリンク栃木ブレックスの専属チアリーダー「ブルクシー」などによるパフォーマンスが披露された。

セミナーは1988年から毎年開催。今回は「新たな創造のシナリオ〜復興・地方創生へ向けて」を総合テーマに基調講演や分科会などがあり、各地の経済界のトップが意見交換した。



あいさつする小林筆頭代表理事 21日午前、仙台市内